



ネットワーク

がんばってまーす 同胞たちへ、心身^{からだ}に気をつけて

古くから漁師町として栄えてきた浦安は、文字通り「水辺の町」。漁に出れば飯が食える。必ずしも生活は豊かでなかったが東京湾の恵みを受け心豊かに営んできた。

明治22年三村合併により浦安村が誕生してから百年、現在の浦安市に至っている。

ゆかりの文化人も数多く、江戸末期の浮世絵師「安藤広重」や小説家「永井荷風」詩人の「草野心平」や「サトーハチロー」、中でも、本市「浦安」を一躍有名にしたのは言うまでもなく「青べか物語」の「山本周五郎」である。

環境に関わる大きな事件としては、昭和33年、本州製紙江戸川工場より、悪水が放流される事件が起こり、同工場に押しかけた漁民と警察隊が衝突し、105名の重軽傷者が出たことはあまりにも有名である。これをきっかけに「公共水域の保全に関する法律」及び「工場排水等の規制に関する法律」の水質二法が誕生した。

同時に海面埋立事業が進み、昭和46年には漁業権を全面放棄することになった。これにより浦安は、東京のベッドタウンとして、住宅を中心とした大都市に変貌した。一方、大型レジャー施設やホテル群、そしてショッピングセンターなどが進出し、これら集客施設を訪れる人々で街は活気づいている。現在も「緑あふれる海浜都市」を目指し、成長しつづけている。

このような状況の中、市民の環境に対する関心も高く、同時に苦情も年々増加している。

現在、地球環境を含む環境問題の全般と環境教育、新エネルギー・省エネルギーそして公害の防止などについて、環境管理系の精鋭四人が日夜頑張っている。

この公害苦情処理についてであるが、本市は大きな化学工場や石油コンビナートが全く無い、むしろ国道や首都高速道路、県道、市道などの幹線道路に伴う、騒音・振動・大気汚染といった苦情が多く市に寄せられている。

また、現在進行中の大規模開発に伴う苦情や不安が付近住民から数多く寄せられている。今後、この開発により市民生活にどのような影響を与えるのか、開発関係者の努力とは裏腹に、本当のところ予想することは難しい。現在も不安を抱えたまま開発は進んでいる。

生活環境といえば、本市の特徴であろうもう一つの問題がある。都市開発が急激に進み、人口も全国一の伸び率で一躍有名になったが、市民相互のコミュニケーション不足による問題である。ちょっとした音や揺れ、そして臭いに対し、直接原因者に伝えることができず、些細な事でも市に苦情として寄せてくるといった現象が、今、浦安市で起きている。

風鈴がうるさい、ラジオの音量を小さくしてほしい、アイドリングやドアの開けしめ、上の人がうるさい、庭で何かを燃やしている、換気扇からの臭いといったごくごく当たり前の市民生活の中で発生する苦情である。

決まって原因者(?)は言う。「そのくらい、直接言えばいいのに?!」「市の職員も大変



だと思うけど、暇なんだねー」と言われたこともある。

市民の代弁も我々の仕事だと思って一生懸命やっているが、いったいどこまでが、我々の仕事なのだろうか？戸惑いや疑問も隠しきれない。

最近になって非常に多くの苦情が寄せられているものの中に、大気汚染や悪臭苦情が目立つ、ダイオキシン類問題など人体への影響の不安からか？

昨年の7月、ダイヤモンドグレース号が座礁した事故の時は、環境課の電話だけでなく、四階フロアの電話機全てが、この苦情で塞がったのには驚いた。これもやはり、悪臭苦情であった。私は、「凄い臭いがする」といった最初の一報で、直ぐ現場に向かったのも、他の職員がどれほど大変だったか、後から聞くだけですんだ。

本市はこの時期、南西の風がよく吹く。この風に乗って臭いは市内を駆け抜けた。公害苦情の域を既に脱していると思ったが、その夜防災課へ泊り込むことになった。その時、電話機とファックスの前でひとり、改めて公害苦情担当者の大変さを実感できた。

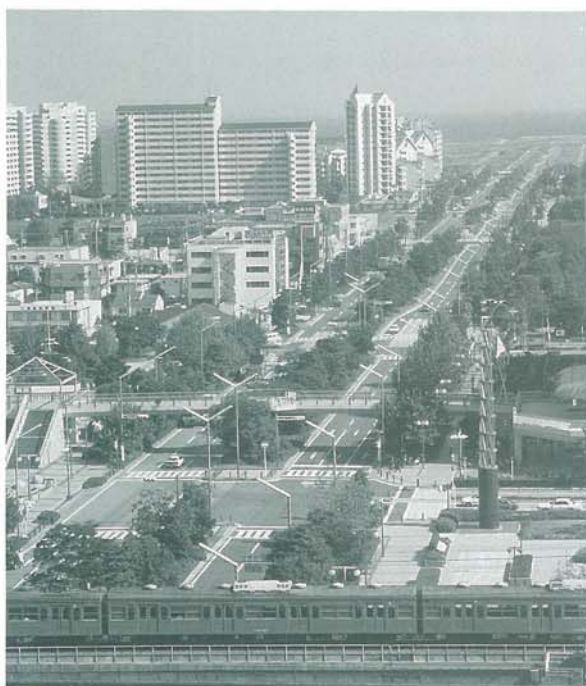
その後も、東京湾海上で行われるタンカーのガスフリーによる広域異臭問題は、後を絶つことなく続いている。原因が分かっているが、改善できないのは何ともやり切れない。

このように公害苦情処理には、原因が分かっているがの難しさ、原因が分からない

ための難しさ、どれをとっても難しい。

必然的に我慢強くなる。精神的な抑圧にも耐えられる強靱な心を持つ人間になってしまう。また、その反動も大きい。居酒屋で酒を煽っても、スナックやカラオケボックスで歌いまくっても、癒しきれない疲れ切った心身を癒してくれるのは、やはり家族だ。仲間や家族に支えられ、今日もまた、市民の為に苦情処理に向かう、どの市区町村でも同じであろう！後を絶つことのない、公害苦情の処理へ……

同胞たちよ、呉れ呉れも、心身には気をつけて！
(やまざき みのる)



都市景観大賞「建設大臣賞」を受賞した
新浦安駅周辺地区(浦安市入船)

—都市景観100選—

建設省では1991年から毎年10月4日を「都市景観の日」と定め、美しい都市景観の創出に資する整備を行った地区を都市景観大賞の都市景観100選に選定し表彰しています。